

# しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 40

平成27年(2015)  
10月22日

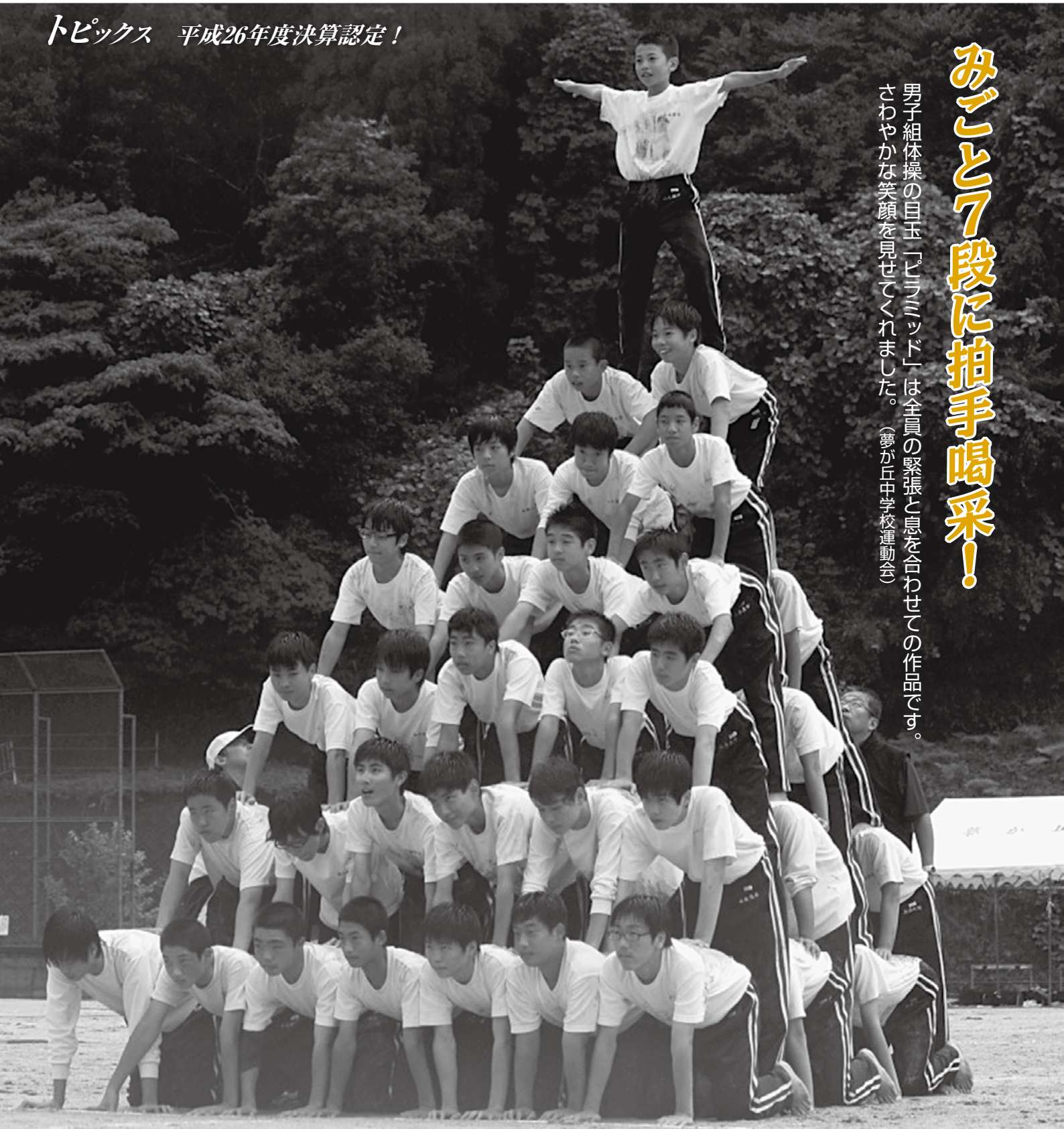
おもな  
内容

平成26年度 決算認定 ……	2～5
条例改正・補正予算 ……	6～7
一般質問 ……	8～16
委員会報告 ……	17～18
請願書・意見書	
採決一覧・議会日誌 ……	19
議員研修報告 ……	20～21
みんなの広場 ……	22

トピックス 平成26年度決算認定！

男子組体操の目玉「ピラミッド」は全員の緊張と息を合わせての作品です。  
さわやかな笑顔を見せてくれました。(夢が丘中学校運動会)

みごと7段に拍手喝采！





## 平成26年度決算認定

# 全般に「丁寧・親切・迅速」な対応と、信頼される地域医療の実現・経営の健全化を強く求める

第74回（平成27年9月）定例会が9月2日に招集され29日まで28日間の会期で開催しました。町長から報告1件、条例案4件、事件案1件、平成27年度補正予算案10件、平成26年度決算認定12件が提出されました。決算認定にあたり、決算特別委員会を設置し4日間の集中審査の結果、原案のとおり認定しました。今回は決算認定を主に報告します。

## 一般会計の決算

平成26年度は、「明日の『安心・元気』作り大交流予算」と位置づけ「元気づくりプロジェクト」の継続とともに、安心・安全なまちづくりを目指し、健全な財政基盤の確立を主体とした予算編成に基づいて事業実施されてきた。

平成26年度の歳入歳出決算状況は、歳入32億9万8千円であ

総額103億5,485万3千円歳出総額102億9,746万8千円、歳入歳出差引額形式収支は、5,738万5千円となり、そのうち平成26年度に繰越すべき財源3,277万4千円を差引いた額（実質収支）は2,461万1千円と

平成26年度における8事業特別会計の歳入決算額は、50億8,355万2千円、歳出決算額は49億5,303万円で、歳入歳出差引残額は、1億3,052万2千円となっている。各特別会計の状況は表のとおりである。

## 特別会計の決算

り、実質公債費比率（普通会計）は16・9％となっている。

## 公営企業会計の決算

平成26年度公営企業会計（浜坂温泉配湯事業・水道事業・公立浜坂病院事業）の決算は、各事業会計とも公営企業の原則である「経営の健全化」に鋭意努力されている。しかし、病院をはじめとする公営企業の今後の運営は、年々厳しさを増している。浜坂温泉配湯事業は、計画に基づき着実に改良整備に努めること。



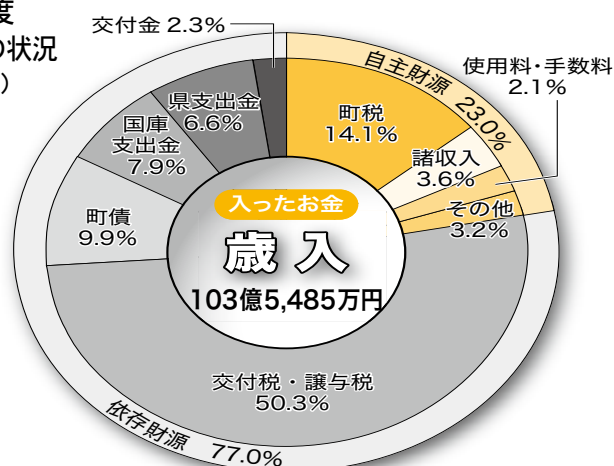
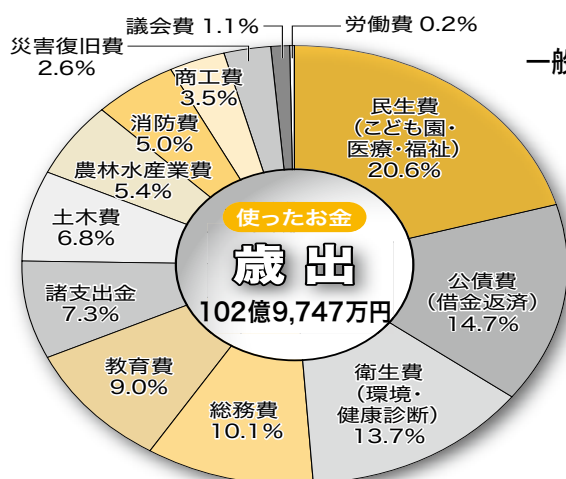
改良と経営の健全化に努めること。公立浜坂病院事業については、人命尊重、町の中核医療機関の観点から施設の充実と医療スタッフの確保に全力を傾注すること。さらに町内医療施設や福祉機関との連携調整を推進し、住民や地域に信頼される地域医療の実現のため、経営健全化の早急な対策や抜本的な改革を強く要望する。

平成26年度 各企業会計の状況

（単位：千円）

会 計 名	収益収支		資本収支	
	収入	支出	収入	支出
浜坂温泉配湯事業会計	100,481	47,863	1,194	24,160
水 道 事 業 会 計	519,308	537,103	223,366	394,342
公立浜坂病院事業会計	1,492,377	2,043,916	149,533	147,543

「出前講座」。地道な活動に期待する。



## 平成 26 年度 各特別会計の状況

(単位: 千円)

会 計 名	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A) - (B)	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
国民健康保険事業					
事業勘定	1,925,667	1,875,505	50,162	0	50,162
照診施設勘定	38,866	38,865	1	0	1
八診施設勘定	8,952	8,952	0	0	0
歯科診療施設勘定	60,701	60,701	0	0	0
後期高齢者医療	203,887	201,284	2,603	0	2,603
介護保険事業	1,667,754	1,665,552	2,202	0	2,202
浜坂地区残土処分場事業	125,052	99,766	25,286	21,850	3,436
温泉地区残土処分場事業	46,466	41,124	5,342	0	5,342
コミュニティ・プラント事業	73,287	72,646	641	0	641
七釜温泉配湯事業	17,338	17,138	200	0	200
下水道事業	915,582	871,497	44,085	33,497	10,588
合 計	5,083,552	4,953,030	130,522	55,347	75,175

## ②保健・健康・福祉 施策の推進

住民の健康管理は、

平成 26 年度末の滞納状況は、町税 9,397 万円、国民健康保険税 9,148 万 6 千円、合計 1 億 8,545 万 6 千円となっており、国民健康保険税と固定資産税が滞納額の大半を占めている。住民負担の公平性の観点から、更に徴収体制の徹底と収納確保に努力されたい。

## ①町税及び国民健康 保険税等の徴収

平成 26 年度決算監査から、次の点を意見する。



代表監査委員  
福田 正

目指す力点は  
5項目

特定健診事業をはじめ様々な健康診断を実施し、年々受診率は向上している。健診後の指導率が低下しているので実施率の向上に努められたい。

## ③人材育成と業務推進

「プロの公務員としての誇りと喜びを感じることができる職員」を基本に人材育成に努めているが、その成果は不十分である。「行政は最大のサービス機関であり職員は全体の奉仕者である」との認識のもと、一層の「丁寧・親切・迅速」な対応に努められたい。

## ④業務の簡素化・合理化

計画的な人員削減は着実に実行されている。職責を全うし、組織内の意思疎通、連携、調整の点検が必要と感ぜられる。

## ⑤信頼される地域医療の実現

浜坂病院を軸として、診療所を含めた地域医療の今後のあり方等、住民に信頼される地域医療の実現並びに、経営の健全化に向けての抜本的な改革への努力を強く要望する。



信頼される病院づくりの一環で実施されている



# 次年度施策に生かせ

決算認定は、決算から施策の成果を点検し次年度に反映すべく議論するものです。今回の決算特別委員会では、委員長に中井勝議員、副委員長に谷口功議員を選出し、議長を除く14名の委員で一般会計・特別会計・公営企業会計の全12会計を審査しました。集中して多くの議論がありましたが、紙面都合のため一般会計の一部を紹介します。

## 総務費

**Q** 小規模事業の設計はどうしているのか。

**A** 年度当初、軽微な設計は各課内でおこなっている。

**Q** ふるさとおんせんの45万円の使い道は。

**A** パンフレット作成送料等。

**Q** 婚活事業は流行のTVに依頼してはどうか。

**A** 一度は考えてみたが、本町内の企画で頑張ってみたい。

**Q** 自衛隊員募集の依頼に関し、高校生の住所等個人情報提供したのか。

**A** 防衛大臣の依頼により、上位法を優先し閲覧ではなく、紙ベースで提供した。

**Q** (町民号) ふれあいの旅、年々参加者が減少している。増員になるよう努めるべき。

**A** JR利用が目的である。しかし近年はバ

ス利用によるもので、40人の倍数となっている。

**Q** 職員研修の予算が少ない。もっと研修をしてスキルアップをすべきではないか。

**A** 経費の少ない研修を適宜開催している。

**Q** 宇都野町職員駐車場のフェンス工事は何のためか。

**A** 斜面の転落防止のため。

## 民生費

**Q** 男女共同参画計画に基づく到達点と成果はどうなっているか。

**A** 新温泉町における各種行政委員会などへの女性の参加は24%である。これを30%に引き上げたいと考えている。

**Q** 新温泉町における児童虐待の実情はどうなっているか。

**A** すべての把握しているわけではないが、4件が報告されている。

る。

**Q** 浜坂認定こども園の改築はいつになるのか。

**A** 財政計画上は平成30年度を予定している。

## 衛生費

**Q** 健康づくりのため水中ウォーキング事業の拡大を。

**A** 効果もあり、拡大したいと考えている。

**Q** 検診の事後指導の件数が少ないがなぜか。

**A** スタッフ不足が要因だが外部委託もしながら対応していく。

**Q** し尿処理でミックス処理の効果は。

**A** 金額換算で、2,300万円、多くは人件費の削減となった。

**Q** 北但ごみ処理施設が完成するが、今後どうなるのか。

**A** 28年4月1日から豊岡市に建設中のクリーンパーク北但で処理される。更なるごみの減量化・資源化を進めたい。

理される。更なるごみの減量化・資源化を進めたい。

**Q** 分別が増え、間違えやすくなるのでは。

**A** 現行の15分別から19分別となる。10月には住民説明会を町内14会場で開催し詳しく説明したい。

**Q** 自然ごみの処理はできる限り民間で行い、できないところは町が処理しては。

**A** 環境学習の意味から学校や生徒会など、今後考えていきたい。

## 労働費

**Q** サンシーホールの相談件数が減少しているが。

**A** 広報を強化して必要な方に必要な情報を提供したい。

## 農林水産費

**Q** 子牛価格が高くなっている。なぜ、畜産農家が増えないのか。

**A** 担い手の若い畜産

## 討論

平成26年度一般会計決算認定

### 反対

中井次郎 議員

全てに反対ではない。個人情報保護の件で自衛隊員募集事務において、本人に許可も得ず、防衛省に個人情報提供している。これまでに通達や「見解」が示され、提供するかどうかは自治体の判断だと、示されているのに提供している。ゴミ処理が広域になることにより、分別品目が増え、町民が対応できるのか疑問だ。個人名のない袋や中身の見えない袋、水分の多いものも持ち帰らないなど変更している。この態度は許されない。ゴミ処理は「お願い」や「奨励」の考えで行うべき。

### 賛成

宮本泰男 議員

平成26年度一般会計歳入103億5千万円余、歳出102億9千万円余。歳出予算の執行率は96.3%。基金の状況は22億7千万円余。町債は132億4千万円余。実質公債費比率

農家も徐々に育っている。

**Q** 花いっぱい運動の今後の課題は。

**A** 負担の軽減を図っていききたい。

**Q** 国道9号沿いには花壇があり住民組織で管理されているが。

**A** 県道や浜坂地域にも進めていきたい。

**Q** 池ノ尾線の土地購入費は。

**A** 地籍調査を終えたところから町が買収し県に渡す。

**Q** 地籍調査の今後の計画は。

**A** 今年度で4.5%となる。平成31年度目標に2%上げたい。

**Q** サクラマス事業の成果は。

**A** 30 cm以上が500匹以上と聞いている。

## 商工費

**Q** 道の駅基本計画に委員の意見が反映されていないと聞いたが。

**A** 多くの議論をいた

だいてまとめた。

**Q** 霧ヶ滝遊歩道の整備をするべき。

**A** 上山エコに委託している。

**Q** 観光大使との連携は。

**A** 今後も意見を聞きながら活動していききたい。現在32名の大使。

**Q** 温泉審議会が2年間開催されていないが。

**A** 諮問事項が無かったためである。

## 土木費

**Q** 未登記処理物件の現状は。

**A** 3月末で残1,220件あり、本年度は5件の処理をした。

**Q** まちづくり審議会の開催は無かったが。

**A** 景観形成の対象が無かったため。

**Q** 体育館の吊り天井の確認は。

**A** 健康公園の体育館は、はめ込みであり軽いものである。その他は今後に対応する。

**Q** AEDの配置は。

**A** 町内で26ヶ所の設置である。公共20、民間6。

**Q** 漁港トンネルは県道格上げへ努力すべきだ。

**A** 年々、経費がかかるので、運動をしていきたい。

**Q** 観光地の消雪装置の改良をすべき。

**A** 雪をとかすだけでなく、歩行者への対応も考えたい。

**Q** 県営住宅を払い下げてもらうべく、住宅調査をすべきだ。

**A** 存続してもらいう要請したが、自然集約団地（古くなり住民が居なくなると終了）としての扱いである。

## 教育費

**Q** 浜高支援協議会への補助金の成果は。

**A** DVD講座を開設し、横断幕を作成した。

**Q** 教育長は組織の役員か。

**A** 課長がメンバーである。

**Q** 公の支援としてはふさわしくないのでは。

**A** 大手学習塾のDVD購入は止めるべきだ。多様な進路に対応すべきではないか。

**A** それなりに効果はあると思う。

**Q** 小学校の通学費の補助とは。

**A** 塩山地区でバス利用せずに徒歩で通学している。3 km以上で、月500円である。

**Q** いじめの早期発見ができる対応はできているのか。

**A** いじめは、誰でも何処でも起こりうること。思っただけで対応している。

**Q** 各小中学校の愛校作業は行政がすべきである。PTAのお世話になっっているが事故の無いよう対応されているか。

**A** 保険には入っているが、気を付けたい。

**Q** 「トライやる」の

受け入れ企業の推移は。

**A** 42から36事業所へと減少している。

**Q** 海外研修は誰でも行けるようにすべきだ。

**A** 個人負担が少なくなるよう配慮している。

**Q** 給食センターの統合後は。

**A** 1月に統合して、異物混入等増えたが4月以降は安定している。

**Q** 人口減少を防ぐため、給食費を安くしては。

**A** 相生市では無料。

**Q** 本町の町財政を考えるに難しい。

**Q** スポーツを快適にするための環境整備はできているか。

**A** ナイター照明等は直している。予算の範囲内ならすぐに対応できる。

**Q** 図書館の職員数は。

**A** 現在5名の職員である。

15・1%。歳入・歳出・町債・基金・次年度繰越明許等財政の運営状況は概ね適切である。下記要望事項を付して賛成討論とする。

- 1 「ふるさと納税」の拡大をすべき。
- 2 「婚活事業」を積極的に取組むこと
- 3 「ゴミ処理広域化」の新規分別区分について町民に周知徹底すること。

## 平成26年度国保決算

### 反対

谷口 功議員

安倍政権は、消費税を増税し、社会保障を公的責任でなく自己責任に変質させている。社会保険を「自助の共同化」とみなして公費負担を減らし、民間でのニーズ充足と地域での助け合いにゆだねる方向へ進めている。さらに、アベノミクスの「第三の矢」として、医療・介護を「成長」の手段として最大限活用する方針だ。このようなか中、「保険料が高すぎる」という町民の悲痛な声が上がっている。町長は、一般会計からの繰り入れは考えないと答弁、すでに、負担の限界を超えている。

# チェック！ 条例改正

こんな「決まり事」になりました



いよいよ制度開始となるマイナンバー。  
周知不足と個人情報保護対策の意見が続出した。

## 新温泉町個人情報保護 条例の一部改正

(説明) この改正は行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー制度・平成25年法律第27号)の施行に伴い、特定個人情報の適正な取扱いを定めるため提案されたもの。提案に対し、個人情報流失の危険性に伴う対策に多くの意見があった。

以下、今回の条例等の改正は次のとおり。

## 新温泉町手数料条例の一部改正

(説明) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定め、並びに住民基本台帳カードの交付手数料及び再交付手数料を廃止するため、改正するもの。

## 新温泉町水道料金審議会条例の一部改正

(説明) 水道料金及び下水道使用料の適正化を図るため改正するもの。

## 動産の買入れについて

①買入物件  
消防団用消防デジタル無線装置

## ②契約の方法・金額 指名競争入札

6,458万4千円

## ③契約の相手方

神戸市兵庫区下沢通6丁目1番32号  
協和テクノロジーズ(株)

## 新温泉町議会傍聴規則の一部改正

(説明) 議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているものに関して、社会情勢などを勘案し改正するもの。

## 新温泉町議会会議規則の一部改正

(説明) 議会における欠席の届出の取扱いに関して、社会情勢などを勘案し、改正するもの。

## 報告他

## 健全化判断比率及び資金不足比率の報告

平成26年度決算に基

づく同比率が次のとおり報告された。

## 財政健全化は好調、病院事業は危機的

平成26年度各健全化判断比率において、実質赤字比率、連結実質赤字比率では赤字は生じていない。実質公債費比率は前年比1.8ポイント改善され、15.1%である。早期健全化基準の25.0%と比較するとこれを下回っている。将来負担比率は、前年比14.7ポイント改善され、110.0%である。早期健全化基準の350.0%と比較するとこれを下回っている。資金不足比率は公立浜坂病院事業会計が16.1%と、対前年3.4ポイント悪化しているが、経営健全化基準の20.0%を下回っている。しかし、内情は一般会計からの支援による特別利益での基準内であり、早急な経営健全化が不可欠である。その他の4会計は、資金不足は発生していない。

## 健全化判断比率 (%)

区分	平成26年度 決算	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	-	14.22	20.0
連結実質赤字比率	-	19.22	30.0
実質公債費比率	15.1	25.0	35.0
将来負担比率	110.0	350.0	

(備考) 実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「-」と記載している。

## 資金不足比率 (%)

特別会計の名称	平成26年度 決算	経営健全化 基準
浜坂温泉配湯事業会計	-	20.0
水道事業会計	-	20.0
公立浜坂病院事業会計	16.1	20.0
下水道事業会計	-	20.0
七釜温泉配湯事業特別会計	-	20.0

(備考) 資金不足が生じない場合は、「-」と記載している。



# 若者定住を支援する定住促進住宅及び住宅リフォーム助成に580万円増額！

## チェック！ 補正予算

まちの台所事情が変わりました

平成 27 年度一般会計予算補正額  
1,836 万 1 千円を増額し 総額は105億 2,4 13万9千円

平成 27 年 9 月補正予算 一般会計、特別会計、企業会計  
(単位：千円)

会 計 名		補正額	補正後予算額
一 般 会 計		18,361	10,524,139
特 別 会 計	国民健康保険 事業勘定	68,491	2,252,171
	後 期 高 齢 者 医 療	2,602	217,104
	介 護 保 険 事 業	4,112	1,700,843
	浜坂地区残土処分場事業	0	137,196
	温泉地区残土処分場事業	0	52,243
	コミュニティ・プラント事業	1,274	50,822
	七 釜 温 泉 配 湯 事 業	199	40,245
	下 水 道 事 業	12,376	830,144
公 営 企 業 計	水 道 事 業	31,092	974,036

この度の一般会計補正予算は、年度途中での事業進捗や新たに発生した状況に対応すべく各費目全体にわたって予算補正が行われた。

また、新規の事業で主なもの、衛生費ではごみ処理広域化に向けての説明会支援業務委託 90 万 3 千円、労働費では定住促進住宅取得助成金 200 万円、農林水産業費では林道修繕工事 478 万円、商工費では住宅リフォーム助成 380 万 9 千円、土木費では道路橋梁の工事請負費 180 万円がそれぞれ増額となりました。今回の一般会計補正は 1,836 万 1 千円を増額し、一般会計予算は総額 105 億 2,413 万 9 千円となりました。

また、併せて国民健康保険事業特別会計補

### 町ホームページで 行政情報と議会一般質問の動画を配信中

町民の皆さんに町行政や町議会への関心をいっそう高めていただくため、町ホームページで動画の配信を行っています。

ホームページの「ビデオライブラリー」のバナーからご覧いただけます。

次回定例会は  
12月です。  
傍聴して下さい。

正予算ほか 7 件、水道事業会計補正予算議案上程され、賛成多数で可決承認された。各会計の補正額は次の表のとおり。

### 個人情報保護条例一部改正 反対討論

谷口 功 議員

マイナンバー制度導入に伴う条例改正だが、この導入そのものに大きな問題がある。それは、第1、国民一人ひとりに原則不変の個人番号を附番し、これによって容易に個人情報と照合できる仕組みは、プライバシー侵害やなりすまし犯罪を常

態化する恐れがある。第2、システムは、初期投資 3 千億円と巨額を要し、具体的メリットも費用対効果も示されず新たな国民負担が続く。第3、税や社会保障分野では、徴税強化や社会保障給付の削減強化の手段とされかねない。第4、国民の監視・管理が強まる恐れがある。



定住促進住宅等の助成は人気も高く、地元建築業界にも好影響となっている。

# ずばり！ 町政を問う。



**一般質問**とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

本町議会では、議員は年 4 回の定例会で一般質問することができます。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。一般質問の質問時間は、答弁時間を除き 40 分以内で、時間内であれば何回でも質問することができます。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1 人 1 ページ）を起こし掲載しています。今定例会の質問議員は 8 人でした。次のとおり紹介します。

頁	質 問 者	質 問 事 項
9	中村 茂	①町の情報化と情報連絡体制の方向 ②岸田川の魚の状況
10	池田 宜広	①町民の意見 ・適任者の配置について ・道の駅、ふるさと納税の当町の方向性は
11	西村 銀三	①道路と町づくり 町の将来 ②介護保険 町の取組姿勢 ③合併 10 年 町づくりへのスタンス
12	中井 次郎	①湯村温泉荒湯の安全な管理を ②新温泉町「道の駅」事業成功させるために何が必要か
13	高橋 邦夫	①「道の駅」は一時凍結すべきであろう ②視察研修で何を得たか ③プレミアム商品券で経済効果はあったか
14	宮本 泰男	①ふるさと納税について寄付金を増やす努力をすべき ②空き家対策について
15	植田 光隆	①安心・安全な地域づくり ②地域の活性化対策について
16	谷口 功	①戦争法案と歴史認識について ②地域の基幹産業である農業を守ろう

※質問は通告受け付け順に掲載しています。



## 町の情報提供のあり方に方向を出すべき

町長 29年度を徒過した段階で対応ができる



中村 茂 議員

**問** 町の各種情報化は、町情報化計画に基づき推進されている。現在の計画は第二次で満了は平成28年度。この中で、懸念される内容は、地域により各家庭や町民への情報提供、サービスに格差が生じている点である。浜坂地域は防災行政無線、温泉地域はケーブルテレビ告知放送で各家庭に行政情報を届けているが100%の状況か。

**町長** 浜坂地域は浜坂の3町内、162世帯は宅内に情報が届いていない。理由は以前に各3町内会の判断で未設置となつていて、温泉地域は全戸に子機が設置されている。

**問** 行政には全戸に情報を届ける責務がある。時間の経過と共に3町内会に再確認すべきではないか。

**町長** 当然屋内にも必要なものだ。そういったことの理解は時宜にかなった形で対応していきたい。

**問** 浜坂地域のブロードバンド化に補助金を投入したが、金額の算定基礎と補助の条件は。

**町長** 3億4千万円の内1億8千9百万円を

助成した。条件は浜坂の全地域に光ファイバーを敷設すること。

### 利点を生かした情報を

**問** 町のネット基盤がある中で今春からNTTがネットサービスを

開始。何かの対策はしたのか。影響はどの程度か。

**町長** 27年3月末で夢ネット加入は約700件、7月末では257件がNTTに移行をした。利用料の減収は750万円になる。対抗等特段の対策はしていない。

**問** 対策が無いとは、その程度の行政施設（夢ネット）という評価か。

**町長** 伝達手段は異なっているが、少なくとも行政が住民に周知すべき情報はしっかりと流していく。ケーブルテレビの更なる活用の指摘は誠に傾聴に値するもの。是非ともその方向で対応したい。29年度まで起債償還があり、完了した段階で一定の考え方や対応ができると思う。



編集スタジオでは専門のスタッフが機材を操作し自主放送番組を作成している。もっと活用すべき。

価なのか。

**町長** 一定の対応が出来なかったことは事実だが、少なからずじけたる思いは持っている。

**問** 町の情報化の手段（媒体）に、防災行政無線、ケーブルテレビ、NTTとケイオプティコムがあるが、それぞれが町全体を網羅していない。町防災行政無線、ケーブルテレビの活用と将来はどうなるのか。いつ方向をだすのか。

**町長** 伝達手段は異なっているが、少なくとも行政が住民に周知すべき情報はしっかりと流していく。ケーブルテレビの更なる活用の指摘は誠に傾聴に値するもの。是非ともその方向で対応したい。29年度まで起債償還があり、完了した段階で一定の考え方や対応ができると思う。

# 職員の接遇向上を

町長 常に向上に努めている

## 接遇向上の取組は



池田 宜広 議員

**問** 職員の適任配置は、能力・年齢等に応じての配置となつていて、思うが、住民からの厳しい指摘がある。特に接遇に関して、指導・管理の状況はどうなっているのか。

**町長** 接遇に関しては住民の皆さんと直接接する、大切な場面であり、できるだけ接遇向上に取り組んでいる。接遇ハンドブックを配布したり、機会あるごとに注意喚起を行い、また全職員研修会に参加し、常に向上に努めている。

**問** 色々な対策を講じているようだが、住民からの接遇に対する意見がある。定数により職員数が限られ、職務遂行に支障がある事も否定できないが、対話をし相手に納得いく説明をするべきだ。

**町長** 必要な対応であり、従前以上に増して意を用いる必要があると思つていて、具体的な事例として上がってくる事案も、少なからずある。どのような状況であつたのか、説明をさせて改善に努めているのが現状である。今後、しっかりとした対応をするのが、行政

の基本的な立場であるので、それをわきまえて対応するよう常に指示していく。

## 「道の駅」の進捗は

**問** 3月議会で示された基本設計報告書、今日現在での進捗状況はどうなっているか。

**町長** 7月に詳細設計を発注したところで、12月には上がつてくる。

**問** 27年度の検討委員会はいつ立ち上げるのか。

**町長** 実施設計の段階で一定の意見を聴取して、12月の段階で対応できるよう、準備をしている。

## 進展した「ふるさと納税」の今後は

**問** これまでの答弁では、謝礼品はしないとのことであつたが、今

年度より大きく進展がみられている。当町の温泉施設（5施設）の入浴券が寄付者に送付されている。これの賛否は何か寄せられているのか。

**町長** 現時点では何もお聞きしていない。寄付者も1人でな

く家族や、友人と来町される方もあると思う。各温泉施設単体での入浴券ではなく、単価もそれぞれであると思うが、共通券（5枚）としてはどうか。

**町長** 共通券での対応は考える余地は、十分にある。



住民サービスの基本は接遇、適材適所で親切、丁寧な対応を求めたい。



## 道路をいかした活性化策は

町長 アイディアを募集していきたい

### 道路と町づくり

**問** 平成29年に全長10km総工費350億円の浜坂道路が完成する。その内7割がトンネルで、景色を見ることが出来るのはたったの3割だ。田んぼ1,000㎡当り1,000万円の買収費と聞くと、買った地権者は何名か。

**町長** ゆっくりと景色を楽しむことはできない。地形的に急斜面で、トンネルにならざるを、えなかったと思う。

**問** 用地交渉は町も関わったが、全体の明確な数字は分からない。

**町長** 豊岡までの高規格道路が完成すると、浜坂からの所要時間か。全線が完成すると大阪まで何時間で行けるか。道路の完成は町にプラスに働くか、それともマイナスか。早急に、活性化につながる施策が必要だ。7割がトンネル、ラジオは全く入らない。これでは楽しいドライブにならないし、観光地としても魅力がない。防災上も問題だ。

### 介護保険負担増に

**問** 介護保険法が改正され8月から負担が増える。具体的にどのようになるか。要介護認定者数、要支援認定者数とその利用実態はどうか。施設入所待ちは何人か。介護度3以上で、1ヶ月平均施設利用者が242人、自

宅介護は159人となっている。国の方針通り、町も自宅介護を目指すのか。

**町長** 対象者数（被保険者数）は5,528名で、その内認定者は1,108名、入所待機者は105名、その内自宅待機者は51名である。療養給付費を減らすのが今回の国の方針で、当然給付費は減ってくる。要支援と要介護1、2は町が受け持つことになるが、今後2年間で十分検討

する。

### 合併10年の成果は

**問** 合併10年。町は元気があったか。職員人事の活性化は図られているか。課長で、旧温泉町の職員はたったの2名となっているが、住民感情に配慮をすべき。企画課は町づくりのトップリーダーとして町の先頭に立つべきだが、どうか。

**町長** また、浜坂病院の運営は、自分たちの病院は自分たちでつくるを、基本に据えないと解決はできない。

**町長** 人口減少とともに元気がなくなっている。小学校の廃校、限界集落など厳しい現状がある。踏ん張って成果をだしたい。人事面では、結果的にそのようになった。病院問題では、すべき事が沢山あるが、地道な努力を続けたい。



西村 銀三 議員



平成29年度完成予定の浜坂道路、メリットを活かすための検討が必要である。

# 荒湯（湯村温泉）の安全な管理を求める

町長 しっかり対応していく



中井 次郎 議員

**問** 春来川遊歩道リニューアル工事において、足湯や休憩スペースが変わった。その中でも、荒湯付近の河川はどこから高温の湯が湧き出てくるかわからない、お客さんが川に入らないようにと形態を変えた。しかし、先日、子どもさんやお父さんが川に入っており、注意をした。ロープ等、具体的な注意事項を書いた看板が必要だ。

**町長** 目立つように注意喚起をしたい。

**問** 荒湯掃除について尋ねる。6月26日、毎

年恒例の荒湯掃除があった。休憩スペースのマンホールのふたを開け、同時に熱湯を流すことになっている。そのマンホールの清掃に参加していた方が、誤って片足を入れ大やけどを負われた。そのマンホールには安全対策がされていたか。

**町長** 安全対策にしっかり対応していく。

**「道の駅」の方策は**

**問** 新温泉町道の駅「山陰海岸ジオパーク浜坂の郷」（仮称）の

基本的な考え方は、①地域資源「海・山・温泉」を連携する拠点 ②人や情報の交流拠点 ③地域の活性化を地域自身で支える拠点となっている。検討委員会の役割はどんなものか。



安全・安心の観光地づくりのため、湯村温泉「足湯・休憩スペース」に注意看板等が必要である。

**町長** 運営方式を選ぶこと。駅長さんを選ぶことなどが役割。

**問** 全体の事業費は。

**町長** 現在、実施設計をお願いしている段階で、それが出てからとなる。

**問** 町民は事業内容をよく知らない。

**町長** その都度知らせしていく。

**問** 他の「道の駅」に比べての優位性は何か。

**町長** 我が町の特性を生かしていく。例えば、良質の海産物、但馬牛、農産物など販売では各種団体の協力を得る必要がある。雪や、交通事故などに対応できる防災拠点にもなり、国民温泉保養地があるので、その優位性を活かして、温泉についても宣傳する拠点としたい。

**問** 「村岡ファームガーデン」や「きなんせ岩美」などに行ってきた。そこではあくまで地元利益を還元することに全力を挙げている。

**町長** 参考にしたい。



# 「道の駅」は一時凍結すべき

町長 基本設計に選択肢がある



高橋 邦夫 議員

**問** 今年度予算で「道の駅」用地買収価格が1㎡4万円となっているが、用土地区でのNHKラジオアンテナ用地が、1㎡2千円と聞いているが、余りにも格差がありすぎる。買収予定価格は適切でない。

**町長** 高い場所です4万円を予定しているが、大きな開きがあると思う。基本は地権者との交渉で決まるものと思う。

**問** 「道の駅」の思いを聞いたが、それを実現するのに一番肝心ことは運営主体だ。今日まで決められないなら、今後決められない。

**町長** あなたは当初からサービスエリア作るべしと言っていたがそれはできない。運営主体もこれから決める。

**問** 実施設計・詳細設計ができてからと言うが、それで決まるとは思えない。

**町長** 基本設計にあるような選択肢がある。

**問** 県の負担分は駐車場用地・トイレの用地と施設・案内所であると確認したい。

**副町長** 県には、これまでの「道の駅」の負担どおりの形で協議する。

**議会基本条例制定は理事者側の理解も必要**

**問** 以前、条例制定を議員提案で行ったが賛同者が少数であった。今回の視察研修で理事者側の理解が必要と感じたがどうか。

**町長** 基本的に議会の自主的な対応となると思う。

**但馬牛の種の継続の取り組みは**

**問** 美方郡の但馬牛飼育頭数が2,000頭を割り込むとしていく。「原種」を継続するには、これ以上頭数を減らすと滅亡の危機となる。増頭への取り組みが急がれる。

**農林水産課長** 県・町・

J Aも各種補助金等を行っている。閉鎖育種の中で増頭が難しいが、県も2万頭目標で努力しているし、冷凍保存精液も2千頭分は確保している。

**問** 若い人が牛飼いができる牛舎や、し尿処理などの環境づくりが大切だ。町営の畜産団地を真剣に考える時だ。

**町長** 増頭阻害の要因に小牛の高騰がある。

牛舎・し尿処理などつらい中だが、畜産業を担う青年たちの声を聴いて行く。

**商品券は景気浮揚効果があったか**

**問** 商品券の景気浮揚の測定方法はあるのか。

**町長** どう計測するかはわからないが、少なくとも町内で回ったことで意味がある。



議会改革の先進地「北海道芽室町」で議会基本条例について研修。

# 寄付金額増大すべき

町長 返礼品として特産品は考えていない



宮本 泰男 議員

**問** 新温泉町のふるさと納税制度は平成20年4月から事業実施し、平成26年度実績は24件302万円。7年間トータル120件948万円余である。町長所感を伺う。

**町長** ありがたい制度1,000万円余の淨財が町政運営に集った。

**寄付金を増やす努力すべき**

**問** 本年度の目標額は設定したか。直近の寄付金額はいくらか。

**町長** PRはしているが目標額設定は制度の趣旨からそぐわない。

**総務課長** 17件172万円。

**問** 寄付金を増やすた

め、課内で目標設定し、事業推進すべきでないか。

**町長** 自由意思の寄付の趣旨であるので目標設定はしていない。

**問** 本町内入浴券は、都会地の方々使用不可能。人気が無い。他市町では特産品を中心に商品を揃え、ホームページに掲載し選択肢を広げる工夫をし、人気を得ている。本町も米・日本一の特産品但馬牛・松葉力二・水産加工品等準備すべきである。

**町長** 政府は返礼品を

どんどんしなさいと言

っている。節度をもつた対応をする。

**問** 町長に商工会の会長他役員が特産品利用等、ふるさと納税の推進を要望したが、要望は断られたと聞いた。この要望は町民の声と聞いてほしい。

**町長** 寄付を募ることはいささかもどうこう言っていない。返礼品は地域間競争になり制度の趣旨を大きく外れている。

**振込事務の簡素化実施すべき**

**問** ワンストップ特例、クレジットカード決済等事務簡素化を導入し、寄付金増額を目指したか。

**総務課長** 申込書のダウンロード化は準備したが、クレジットカード決済は費用対効果の面から導入は考えていない。(初年度費用93,000円。手



増加する空き家の活用と対策が求められている。

数料が寄付金の1%必要)

**問** 香美町では本年度からクレジットカード決済を開始し、7月末時点で3,100件と上がった。(平成26年2,720件金額約3,100万円)

**町長** カード決済を取入れたとしても寄付金が増えることにつながらない。

**空き家対策について**

**問** 空き家調査が実施されたが、空き家の状況等を伺う。

**町長** 空き家は466戸、危険家屋は46戸。

**空き家バンク制度**

**問** 但馬3市2町で制度が無いのは、香美町と本町のみである。早急に創設すべきである。「温泉付き空き家」に再生し、利用することを提案する。

**町長** 温泉配湯利用は地方創生総合戦略の中で対応に努めたい。



## 安心・安全な地域づくり

### 町長 事業を整合し対応したい



植田 光隆 議員

**問** 我が町も典型的な少子高齢化で老人夫婦・独居世帯が増えてきた。住み慣れた地域で安心して暮らせる、まちづくり・むらづくりを指している。そこで介護保険事業も平成29年度より見直され、要支援1・2が町の独自事業として位置付けられるようになり、各地域における相互扶助の必要が益々高まってくると思う。今後3年間の介護予防事業計画が策定されているが、地域

活動の具体的な施策がみえてこない、事業展開を具体的に示してほしい。

**町長** 地域支援事業という形で地域力を高め医療と介護を結び付け、地域で包括的なケアの流れを作っていく事が急務の課題になっている。具体的な事業として、いきいき百歳体操とか、28年度から家事の援助事業の施行を考えており、いろんな事業をできるだけ整合しながら対応したい。

**問** 介護予防・日常生活支援事業をするため27年度より生活支援コーディネーターの配置をするとなっているが、配置場所は・何名か・どんな人か。  
**健康福祉課長** 28年度より、一応浜坂地域は

包括支援センターの職員で、温泉地域を社会福祉協議会で一旦スタートさせたいと思っている

**問** 安全な地域づくりについて問う。自然災害等はいつ発生するかわからない、高齢者・障がい者の方々の災害体制作りが必要となると思う。地域の福祉と防災力を高めるために、住民へのPR体制と住民による組織作りが必要となると思うが。

**町長** 地域防災については地元消防団・自主防災組織等、防災計画の中で有事の対応をすることになっている。  
**健康福祉課長** 防災マップ作りについては、保健師が出向いて指導させて頂く。

### 地域活性化対策について

**問** 合併して早10年となり、小学校も統合された今、地域・集落存続の危機感を強く感じている。国においても（まち、ひと、しごと創生本部）が設立され、各自治体も本格的に動き始め、国の本気度が伺える。そこで我が町も積極的に振興策を早く提案すべきと思うが町長の見解を問う。

**町長** 一応素案段階で

あるが、出来上がったので、所管委員会に報告したい。

**企画課長** 地方創生推進委員会を2回開催した。また、9月議会において資料として総合戦略の素案として人口ビジョン・住民アンケート等提出し、それから行政の内部で本部会議を設け、各4部会で職員が中心となつて現在協議を進めている。10月末には戦略も出していききたい。



健康福祉の拠点「すこやか〜に」では、各種の健康づくり事業が行われている。

# 憲法違反の戦争法黙認は許されない

町長 立法院で慎重審議をするべきだ



谷口 功 議員

**問** 広島・長崎の平和記念式や終戦記念日で、自分の言葉で語れないと批判された安倍首相、ポツダム宣言も、つまびらかに承知していないと答えている。憲法違反の戦争法黙認は許されない。

**町長** 一般的に、ポツダム宣言の受諾で日本の全面降伏がなされた」と書物に書かれている。立法院では慎重審議するべきだ。

**問** シールズ関西22歳の寺田さんは、「戦争法案を許すことは、自分が責任をとれないこ

とを許す、ということでありそれだけではできない。私はこの国の主権者であり、この国の進む道に責任を負っている人間の一人だから」と述べています。それぞれが主権者として意思を表明し、行動することは重要ではないか。

**町長** 集会の自由・思想の自由それらは、当然保護、尊重されるべきものと思っている。意思の表明は、強い権利性を持っている。

## わが町の基幹産業を守ろう

**問** 基幹産業である農業・漁業が、TPP交渉推進でさらに危機が迫り、コメの前渡金は60キロ当たり1万2千円と、今年も生産費1万6千円を大きく下回っている。農業の次世代継承が一層困難になるのではないか。

**町長** TPPは、農村はもとより地域社会を含め産業・社会等、各分野で困難が生じる。

## 「地方創生」が産業活性化、町の発展につながるか

**問** 地方版総合戦略素案ができたということだが、概要を説明願いたい。

**町長** 人口の基本減少



「子ども・子育て」を最重点とした地方創生を実施すべき。

- 1、町を支える産業の振興。
  - 2、町でもてなす交流、観光交流の拡大。
  - 3、町が見守る若者の未来、子ども・子育て。
  - 4、町でゆったり安心暮らし。
- を基本目標とする。



## 総務教育常任委員会

平成27年9月10日開会

### 子ども教育課

保育教諭確保の為の資格・免状取得支援事業補助金交付要綱の制定について

**Q** 現在、対象の先生は何名か。

**A** 正規教諭2名、臨時教諭3名である。

**Q** 職員採用試験にはどの資格が必要か。

**A** 保育教諭・幼稚園教諭の両方の資格が必要である。

### 生涯教育課

近隣町の図書館との相互利用について

**Q** 相互利用は大変良いことであるが、検索システムが構築されているのか。

**A** 現在は別々のシステムとなっていて、直接検索はできないが、それぞれの町のHPから検索はできる。

### 税務課

国民健康保険税について

**Q** 県下のランクはどの位置になるのか。

**A** 県下では高い方に位置し、但馬地区では一世帯当たりで一番高いランクになる。

### 企画課

地方創生総合戦略について

**Q** 何を目玉にして4つの基本目標を、けん引して実現していくものとしているのか。

**A** 現段階では申し上げられないが、素案の中に目玉となるべきものは入っている。

### 総務課

マイナンバー制度について

**Q** 制度がスタートしても、今まで通りの手続きで住民票は発行できるのか。



マイナンバー制度がスタートします。

きるのか。

**A** 従来通りできるが、住民票にマイナンバーを記載するようになる。

**Q** 個人番号カードの更新はあるのか。

**A** 未成年は5年、成人は10年となる。住民基本台帳に記載の皆さんに付番されるが、個人番号カードは申請により発行される。

**Q** 高齢者の方々のカード必要性は。

**A** 今のところ、税と社会保障、災害時等である。特に福祉に関しては必要になる。

## 産業建設常任委員会

平成27年9月8日開会

### 牧場公園課

報告事項

**Q** 来園者のターゲットの見直しを考えると、また、他の施設等と共同イベントを考えると。

**A** 基本は家族連れを中心に考えている。他との共同イベントは取り組むたいが、予算も手間もない。

### 農林水産課

報告事項

地域おこし協力隊募集結果について

・内容は農林水産物の地産地消担当 1名  
・採用者  
・瀧口賢司（49歳）

地方創生地域活性化研修会の開催

・内容は我が町の特性を生かした地方創生を推進するための研修会  
・日時：9月26日（15時）  
・場所：保健福祉センター（すこやか）  
・講師：天野正治氏



平成 28 年度全国草原サミットが  
開催される「上山高原」

第11回全国草原サミット・シンポジウムの開催日程が決定する

・平成 28 年 10 月 15・16・17 日。

・プレイベントを今年の 10 月 18 日に実施（秋のエコフェスタ）と同時間開催。

## 建設課

### 報告事項

浜坂都市計画の見直しについて

・ 4 路線、2 事業を廃止し、1 路線の浜坂駅港湾線は継続要請し平成 31 年着手して 35 年に完成見込み。

**Q** なぜ今の時期に見直すのか。

**A** 時代の変化に対応し、審議、検証も含め

見直した。住民説明会も 8 月に実施した。

## 商工観光課

道の駅、実施設計業務入札について

・ 入札月日：6 月 30 日  
・ 落札価格：1,047 万 6 千円。

・ 落札業者、パシフィックコンサルタンツ（株）神戸事務所。

**Q** 今後のスケジュールは。また、県と町の配分は。

**A** 早く委員会を開催し協議を進めていきたい。配分は、まだ決まっていないうが県が進入路と敷地造成、町が建築物の担当で進めていく。

### 協議事項

遊覧船乗場浮き桟橋改修工事について

・ 工事費：447 万 9 千円。（委員会了承）

### 【その他】

郡の地籍調査事業に係る要望書については、極めて重要であり、効果的かつ計画的に取り組むよう執行部へ要請した。

# 環境福祉常任委員会

平成 27 年 9 月 9 日開会

## 健康福祉課

地域密着型サービス事業者選定委員会設置要綱の制定

**Q** 6 人の委員の中に副町長や課長が入っている、しかも委員長は副町長となっている、これで公正な選定ができるのか。

**A** 公正な運営や選定をしていく。

地域消費喚起商品券交付事業

**Q** 浜坂地域はニコニコ商品券、温泉地域は夢千代シール商品券により買い物をするが、税金で行う事業は町内一本化すべきだ。そのほうが使い勝手が良くなる。

**A** 次回からその方向で取り組みたい。

## 町民課

平成 27 年 9 月 1 日人口統計

**Q** 人口がだんだん減ってきている。それを増やす施策はあるのか。

**A** 町政全般で考える必要がある。決めてとなる施策がないのが実情だ。

ごみ処理広域化に伴う廃棄物処理施策

**Q** 燃えるゴミ袋に名前を書かない、中が完全に見えない、水分が多く含まれているゴミなどは収集しないとなっているが、その考え方は「収集してやってやる」との上から目線の考えだ。あくまで「お願い」「努力目標」で行くべきだ。

**A** 上から目線ではない。中が見えないというのはプライバシー保護



平成 29 年度からごみ処理広域化が始まる

護の観点から考えるべきだ。  
**A** 見直しを含め再度検討する。

## 上下水道課

下水道接続率報告書

**Q** 岸田出張診療所の下水道は接続したのか。

**A** 10 月に入札をする。

工事発注及び進捗状況

**Q** 入札調書を見ると、新温泉町外の業者、神戸などの業者が入っている。「地元の仕事は地元業者優先を」と言っているはずだが、そうなのではないか、なぜか。

**A** 技術力に差がある。育てていくという観点はないのか。

**A** 今後考える。

**Q** 財源が厳しいからこそ、町外にお金を流失させることなく、町内で循環させる必要がある。そうしなければ子育てなどの財源も出てこないではないか。

**A** 地元業者優先を貫く。



請願書・意見書・採決一覧

議会日誌

請願書

●集团的自衛権行使容認の閣議決定撤回・戦争法案の廃案を求める意見書提出に関する請願  
(審議未了)

●少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について  
(採択)

意見書

●地球温暖化対策のための税を活用した低炭素な地域づくりへの支援強化に関する意見書  
(原案可決)

●少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書  
(原案可決)

第74回定例会 議案採決一覧表 (H 27.9)

議 案 名	議 員 名																賛 成	反 対	採 決
	1 中井 勝	2 宮本 泰男	3 小林 俊之	5 池田 宜広	6 中村 茂	7 岩本 修作	8 谷口 功	9 植田 光隆	10 宮脇 論	11 西村 銀三	12 谷田 一富	13 岡坂 峰雄	14 高橋 邦夫	15 中井 次郎	16 西村 敏弘				
新温泉町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	—	10	4	可決	
新温泉町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠席	○	×	—	10	3	可決	
新温泉町水道料金審議会条例の一部改正について	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	欠席	○	×	—	9	4	可決	
平成26年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	—	11	3	認定	
平成26年度新温泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	—	12	2	認定	
平成26年度新温泉町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	13	1	認定	

○は賛成、×は反対、—は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案は省略)

議会日誌

- 7月  
6日 北但行政事務組合  
議会議員視察研修  
《丹波市・金沢市》  
8日 議会広報調査特別委員会  
兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会臨時会・  
兵庫県町議会議長会評議員会及び議長研究会  
《神戸市》  
15日 議会広報調査特別委員会  
21日 23日 常任委員会合同視察  
研修 《北海道土士幌町・  
芽室町・浦臼町》  
30日 コリドー21サミット  
《鳥取県八頭町》  
31日 第46回但馬広域行政事務  
組合議会定例会《豊岡市》  
8月  
12日 但馬地域づくり懇話会  
《朝来市》  
27日 議会運営委員会  
9月  
2日 29日 第74回議会定例会  
全員協議会  
3日 議会広報調査特別委員会  
産業建設常任委員会  
環境福祉常任委員会  
総務教育常任委員会  
10日 18日・24日・25日  
決算特別委員会

# 北海道上士幌町ほか、行政視察研修レポート

平成27年7月21日～23日にかけて議会議員全員を対象に行政視察研修を行いました。参加者は議員13名に町長が同行。今回の視察先は北海道内3箇所、研修内容は、「ふるさと納税の現状及び議会改革のあり方並びに、農業経営について」を中心に、先駆的な行政施策の実態と実情を調査し、町政進展の一助とすべく、行ったものです。研修結果を報告します。

## 「ふるさと納税」の取組と現状（上士幌町）

### ■町の概要

上士幌町は帯広の北十勝平野の最北端、北海道のほぼ中央に位置する総面積凡そ700平方キロメートル（新温泉町の約3倍）。その内、山林が76.4%、農用地が14.5%、産業は農林業で農業、林業、酪農が盛ん。平成26年度の生産額は185億円（農家数170戸）。人口は約5,000人の町である。ふるさと納税を利用した町おこしに取組み、都市との交流、移住定住に大きな成果を上げている。ふるさと納税額全国第2位の町である。

### ■取組みの経過と現状

上士幌町は平成の大合併で平成16年に合併

しないことを選択した。人口減少は町の活力低下につながる。少子高齢化は避けられないが人口減少を最小限に食い止めるのは行政の役割。都市と農村の交流を活発化させ、人と物の交流を拡大させることが間接的に人口減少を食い止めることにつながる考えた。

### ■東京一極集中から生まれるもの、求める視点は移住定住

時間を追い越す生き方が求められるのが世

界の大都市東京。自然の時間とともに生きるのが上士幌町。スローな町を評価してくれる人は必ずいる。その考え方が「ふるさと納税制度」の導入によって拍車をかけた。現在、最大の成果は町への移住定住者は54組、103人に達している。5千人の町に103人は高率の人口増といえる。また、町への関心を図るツールは何と言ってもネット環境。地域おこし協力隊の活用など情報発信にかかる人材の確保を積極的に行ってきた。ふるさと納税額は平

成23年が1億1,746千円。平成26年が9億5,700万円で寄付者は54,000人にまで拡大している。27年度はそれ以上の動きとのこと。

### ■寄付金をどう使うかがポイント

「寄付行為をモノで釣るという批判もあるが、物事はそこから始まる。」最大限誠意をもって対応することが寄付者への感謝と交流人口の拡大に通じる。使途の主は、子育て支援事業で「ふるさと納税子育て少子化対策夢基金」条例を制定し、重点的に使っている。

### ■印象的事項・感想等

○「スタジアムに例えるなら観客席5万人の応援者が見守る中5千人の町民がブレイヤーとなって頑張っている。応援席からおりて一緒にブレイヤーをしてくれる人たちをどれだけ増やすか。そういった人たちを大切にしたい。（竹中町長弁）」  
○人口5千人足らずで住民税2億の町が、10億近くの「ふるさと納税」を集める大儀とアイデアに敬意。  
○ふるさと納税が媒介し町が元気になる。遅き感だが、やらない手はない。

## 全国トップクラスの

## 議会改革の経緯と現状（芽室町）

### ■議会改革の概要

芽室町は十勝地方、帯広市の西隣に位置し

JR根室本線、道東自動車道が通る。人口は19,209人である。酪農、畑作が盛んでス



成果に“次回の選挙に期待する…”と応えてくれた。



イトコーンの作付面積・収穫量は全国第1位だが、帯広市のベツドタウンの顔も持ち人口は増加している。

芽室町議会は、平成24年から「住民に開かれ、分かりやすく、行動する議会」をスローガン

に掲げ、「通年議会」「議会モニター制」「議会サポーター制」「ネット中継」「議員の公開研修」「町民との意見交換会」「北大公共政策大学院との包括連携協定と共同事業」など、議会改革を急ピッチで進めている。

### ■改革のきっかけは

同議会が議会改革を積極的に進めようと本格的に乗り出したきっかけは、平成22年の町長選挙や町議会選挙での投票率の低下であった。町長選挙は平成8年の90・35%から71・15%に、町議会選挙は平成3年の86・23%か

ら67・10%へ、それぞれ20ポイント弱も低下した。それは、とりもなおさず町民の町政やまちづくり、町議会の活動への興味・関心の低下と、捉えた。

### ■印象的事項・感想等

○「投票率は住民参加のバロメーターだと意識しなければなりません。議会改革や議会の活性化策として『住民と議会をつなげるツールは何か、どうすればよいか』を考えた時、やはり一番重要な存在は広報広聴の充実でした。（局長弁）」

○改革の成果を質問すると「特に成果を検証していないが、成果は次回からの選挙にあらわれてくると期待している。」と、議長の回答であった。

○議会基本条例は必ずしも絶対に必要な条例ではないが、情報公開度日本一は評価でき



芽室町「議会改革の経緯と現状」で質問した改革の

る。条例制定することが目的ではなく、制定してからの活動が肝要で「PDCA」サイクル

ルが重要と認識した。本町においては議員の共通認識が得られるか、困難な課題もある。

### 神内ファーム21の基本コンセプト

「克冬制夏」を学ぶ（北海道浦臼町）

### ■「神内ファーム21」の経過等

大手消費者金融「プロミス」を創業し、一部上場会社に育てた「神内庄一氏」。70歳で幼少の頃からの「夢と志」である「北海道で農業を」という夢を実現するため、私財100億円を投じて、

札幌から1時間半の浦臼町に600ヘクタールという広大な土地を取得し、起農した「神内ファーム21」を訪ねた。

この「神内ファーム21」事業は今から18年前の平成9年に始まり、毎年、植物生産工場、ハウス、牛舎、研究所など様々な施設

を整備し、日本一の農業ファームとなつていく。「北海道での農業は気温と降り積もる雪との戦いであり「克冬制夏」なのだ。」と、説明を受けた。

### ■「克冬制夏」は夢の挑戦

ビニールハウスでは、バナナ、マンゴー、パイナップル、が生産されていた。今はマンゴーが収穫期で、立派に結実していた。ハウスは太い鉄骨づくりの強固なもので、温度の維持と雪の重量に耐える工夫を凝らしていた。ボイラー暖房のほか、太陽光と地中熱を利用し、夏場は「氷蓄熱」（冬の間に建物地下に1,000トンの氷を貯蔵）を利用するなど、温度管理に工夫している。1棟1億円程度の工費が掛かるとのこと、今後100棟の計画があるらし

い。「克冬制夏」はハitek、ローテクを総動員して実現されていた。

### ■印象的事項・感想等

○「神内ファーム21」を見て感じたことは、《四つの理念》①克冬制夏②農業の企業化③夢現熟・就農支援④心を癒す場の提供。（感想）創業者の農業に対する志には感動した。○北海道だから出来たかも知れないが、農業の第六次産業化や新規就農支援にも早くから取り組んでいることは、日本の農業政策の先駆者だと思った。ただTPP交渉が最終局面を迎えている昨今、気がかりである。



挿し絵 清水伸子氏

## 楽しく走って湯村温泉をPRすること

湯村温泉足輕会

代表 森田 善幸

**活動内容は…**湯村温泉のロゴ入りユニフォームを着て、各地のマラソン大会に参加し、湯村温泉をPRすること。

**いつから…**2010年から大阪方面のリレーマラソンに「チーム湯村温泉」とか「湯村温泉RC（ランニングクラブ）」として仲間を募り4人ぐらいで参加するようになりしました。2013年の春に正式にチームを立ち上げ、チーム名も「湯村温泉足輕会」と決めました。以後各メンバーがロゴ入りユニフォームを着て各地の大会に参加したり、チームとしてリレーマラソンや団体戦に参加しています。

**メンバーは…**発足当時は13名でしたが、徐々にメンバーも増え、現在では男子17名、女子3名の計20名です。メンバーの年齢層は20代から50代、湯村近隣が主ですが町出身で神戸市在住の方も新規に加入。趣旨に賛同される方でしたら、どんなでも歓迎します。

**会のセールスポイントは…**発足当時から会費や規約も特にならない、ゆるい団体です。モットー



自慢のロゴ入りユニフォームで「鳥取マラソン2015」に参加しました

は「楽しく走って湯村温泉をPRすること」。記録更新を狙って日々練習を重ねる者、仮装を楽しむ者、うちあげが楽しみな者、トレイルランが得意な者、ロードが得意な者など。様々なメンバーが集まっています。

**今後の抱負は…**東京マラソン・大阪マラソン・神戸マラソン・京都マラソン等の大都市抽選マラソンに1人でも多くのメンバーが当選して走り、何十万人の沿道のかたに「湯村温泉」のロゴを見ていただければ最高の会の結束と親睦を深める練習会やリレーマラソンの参加も積極的に進めたい。

**皆さんにお願いしたいこと…**昨今のランニングブームで、各地のマラソン大会の参加者は年々右肩上がり。大会の開催だけでなく、行政や観光団体等が協力してさまざまな仕掛けをし、交流

人口の拡大につながることを肝要だと思います。お隣の香美町はうまく運用され、大会に参加し、感動し、自然にその町のファンになり、見返りの有無に関係なく「ふるさと納税」や何度も来町される人が多いように見受けられます。ぜひ参考に。

## 編集後記

各校区の運動会、各地区の秋祭り、たじま牛まつり等秋を満喫されたと思います。

今年は秋雨前線が長く停滞し、稲の刈り取りが大変であったが、収穫は平年並みでホッとします。

秋の深まりと共に、海の幸に恵まれるシーズンとなり楽しみにしています。

今年は記念すべき節目の年、合併十周年迎えました。未来に向け更なる町政発展を願っています。

今回の発行が現委員会委員での最後の編集となります。ご協力ありがとうございました。

町民皆様方のご健勝を心からお祈りいたします。

(M・U)

### 議会広報調査特別委員会

委員長	中村 茂
副委員長	池田 宜広
委員	小林 俊之
	岩本 修作
	植田 光隆
	中井 次郎

発行者 議長 西村敏弘